

---

公共用地會計

---

公共用地会計は、用地の先行取得と土地開発基金の運用にともなう収入・支出の整理を目的とした会計である。

昭和46年度決算においては、前年度からの繰越金2,033,776円並びに土地開発基金から生じる預金利子2,011,531円の合計4,045,307円が歳入総額である。

歳出においては、総額3,919,790円のうち3,900,000円を土地開発基金へ積立をし、基金総額を136,900,000円とした。その他の19,790円は、予算、決算書の印刷代金等である。よって、翌年度への繰越金は125,517円となるが、今後も、より積極的な先行取得をもって公共用地の確保をはかりたい。